



グローバル・シチズンシップ・レポート 2008
エグゼクティブ・サマリー



経済性とアクセス

当社の物理的およびデジタルネットワークはアクセスの拡大に寄与し、世界中のあらゆる人に新たなチャンスとイノベーションの機会をもたらします。



環境と効率

当社の役割は環境負荷を最小限に抑えながら、一段と効率的なグローバルネットワークを構築するチカラを高めることです。



地域社会と災害援助

ネットワークの拡大に伴い、当社ではより迅速に災害時の緊急支援ができるようになります。世界各国での地域社会への貢献は、当社のインフラや専門知識、ならびに人材を活用したほんの一例です。



人材と職場

当社スタッフは日々の業務の中で、お客様、株主、そして地域社会に対し積極的に取り組んでいます。

この報告書はフェデックス2008年グローバル・シチズンシップ・レポートのエグゼクティブ・サマリーです。

レポートの全文は以下のサイトでご覧いただけます。(英語のみ)
http://citizenshipblog.fedex.designcdt.com/sites/default/files/fedex_citizenship_2008.pdf

ご挨拶

地上3万フィートの空の上、あるいはお客様の玄関先 — フェデックスはこれまで35年にわたって、あらゆる場所から世界を見つめてきました。フェデックスが世界を捉える目は現在、220を超える国や地域に広がっています。

このような広い視野を持つことで、フェデックスが世界にどのような影響を及ぼしているかを理解できるようになります。私たちの提供する「アクセス」が、人々の生活や企業の成功、そして国の成長に貢献していることは確実です。持続的な価値の創造とは、財務上の利益を追求することだけではなく、社員やお客様、株主、そして当社がサービスをお届けする地域社会から継続的に信頼を獲得することでもあります。

私たちはこの信頼関係を極めて重要視しています。フェデックスが自分たちの地域社会や日常生活の一員になることを、世界中の方々が歓迎してくれています。当社は、信頼性が高く、コストパフォーマンスに優れたサービスをお届けするだけでなく、強い責任感を持って、当社の社員や環境、地域社会に敬意を払いながらその役割を果たすことを期待されています。

このグローバル・シチズンシップ・レポートは当社の責任に対する考え方をまとめたものです。お客様や地域社会への一流のサービス提供に向けた強い使命感を反映しているほか、当社の持続可能なオペレーションと強力なガバナンスに対する取り組みや、あらゆることを成し遂げてしまう社員の献身的な姿勢について述べています。また、このレポートには自分たちで設定した大切な指標も含まれており、この指標のおかげで当社の努力と進歩の度合いが目に見える形で分かるようになってきました。一言でまとめると、このレポートは、自分たちのハードルを高める役割を果たしているのです。

当社では、自社の専門性を活用できる以下のような分野に注力することで、多くのメリットをもたらすことができると信じています。

- 当社の物理的およびデジタルネットワークはグローバルを舞台にした新しいビジネスチャンスをもたらし、人々の日常生活における可能性を広げるほか、ビジネスイノベーションを促進します。
- 常に最先端のものを取り入れる精神を発揮し、一段と効果的で環境に優れたサービスをお届けします。
- 世界のどこかで災害が発生しようと、当社のグローバルネットワークを活用して、ほとんどの地域に迅速かつ効率的な支援を提供できます。
- 社員を第一に考える「people-first」の理念は、常に当社の価値観の根幹を成しています。優秀な人材を採用・育成し、その働きに報いることで、スタッフは地域社会のニーズに精力的かつ柔軟に応えるようになり、その社会においてフェデックスの顔となるのです。

私たちの世界は今、深刻な事態に直面しています。企業や政府をはじめ、NGO、個人など、あらゆる関係者が真剣な取り組みを継続することで、どのような難局も切り抜け、世界中の個人、企業、そして国にとって、これまで以上に大きな可能性を創造することができるようになると信じています。

次ページ以降では、前述した目標の達成や現在のフェデックスを形作る継続的な信頼の獲得に向けて、当社がどのような取り組みを実施しているかについて記していますので、ぜひご覧いただければと存じます。

Sincerely,



フェデックス コーポレーション
会長、社長兼CEO
フレデリック W. スミス

フェデックスのシチズンシップにおける原則

- 当社のチームメンバーを尊重する
- お客様にメリットをもたらす
- 当社の評判を維持し高める
- サービスを提供する地域社会からの信頼を継続的に獲得する
- 責任ある企業として成長する
- 透明性が高く、効果的な社内外のコミュニケーションを実施する

ハイライト

フェデックスでは、この初のグローバル・シチズンシップ・レポートを通じて、傘下事業会社の取り組みをステークホルダーの方々とは共有することを目指しています。フェデックスは現在ほぼ全世界でビジネスを展開しているため、当社の意思決定や各種事業は極めて大きな影響力を有しています。本レポートは、当社が設定したゴールを共有し、進捗を報告する正式な場となるほか、今後の進展に向けた指標をお伝えする機会でもあります。

当社のデータ収集能力は今後も継続的に向上し、また情報量も着実に増大していくことでしょう。このハイライトのセクションでフェデックスの成長を垣間見ていただくことはできますが、この2ページで当社の取り組みをすべて説明しているわけではありません。詳細は次のセクション以降に記載しているほか、ウェブサイト (csr.fedex.com) に2008年グローバル・シチズンシップ・レポートの全文 (英語のみ) を掲載しています。当社では本レポートを今後年一回発行する予定です。

当社では、核となる財務戦略をサポートする長期的な数値目標を以下の通り打ち立てています。

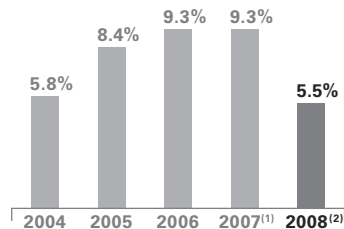
- 売上高：年率10%の伸び
- 営業利益率：10%以上
- 1株当たり利益：年率10 - 15%の伸び
- キャッシュフローの改善と投下資本利益率などの収益率の拡大

2008年度財務ハイライト

売上高 (単位：10億ドル)



営業 利益率



希薄化後 1株当たり利益



(1) 2007年の実績には、フェデックス エクスプレスのパイロットと新たに締結した4年契約に基づく前払報酬と手当の合計1億4,300万ドルの費用を含む。

(2) 2008年の実績には、約8億9,100万ドルの費用を含む (6億9,600万ドル純税額、希薄化後1株当たり2.23ドル)。これは主に、キンコースの商標使用を最小限にする決定とキンコース (フェデックスオフィスに名称変更) 買収に伴うのれん代に関連した現金によらない減損分である。

環境と効率

航空機の排出量

フェデックス エクスプレスの航空機のCO₂排出量を、有効トンマイル⁽¹⁾で2020年までに20%削減する予定です。

2020年までの目標 **(20%)**

2008年度 **(3.7)%⁽²⁾**

集配車両

集配車両の燃料効率を改善し、フェデックス エクスプレス保有車両のCO₂排出量を削減しています。

2020までに **20%**
の燃費の改善

2008年度 **13.7%⁽²⁾**

施設排出量

2009年に自社の施設や設備の影響を測定し、全世界のオペレーションにおける間接排出 (Scope 2 emission) の報告をする予定です。現在は全世界の約75%の施設において排出量のトラッキングが可能です。

トラッキング目標 **100%**

2008年度はおよそ **75%**
をトラッキング

再生可能なエネルギー

再生可能エネルギー証書(REC)の購入に加え、施設での再生可能エネルギー生成能力を拡大する予定です。

目標 **2万5,000 MWh**

2008年度に購入したRECは2万5,000 MWh超、フェデックスの施設では1,000 MWh以上の太陽光エネルギーを生成

(1) 有効トンマイル (ATM) の定義は輸送量1トン(貨物)×輸送距離1マイル。

(2) 2008年の改善は2005年の当社基準からの累積値。

地域社会と災害援助

税引き前利益における
社会貢献活動の割合

現金と物資による寄付を含む

2008年度 **1.1%⁽¹⁾**

(1) 2008年の実績は、約8億9,100万ドルのキンコース関連費用の影響を除く。

ボランティア時間数

現在、社員がボランティアに費やした時間数を追跡するシステムを構築中で、2009年中の完成を目指しています。

人材と職場

フルタイムスタッフ
の在籍率

フルタイムスタッフの在籍率の維持、向上に努めています。

2008年度 **93.1%**

2008年の全世界の数値

女性とマイノリティー
の管理職数

女性とマイノリティーの管理職を継続して増やす予定です。

2008年度 **38.6%**

米国外のマイノリティーのデータを有していないため、2008年の全世界の数値は実際より低くなっています

社員の
エンゲージメント

社員のフィードバック調査に対する高い参加率の維持を目指しています。

2008年度 **93.4%**

年次フィードバック調査に参加した全世界の社員の割合



経済性とアクセス

フェデックスは世界中の人々と企業をネットワークで結んでおり、当社が「アクセス」を拡大すれば、株主の皆様に対する当社の長期的な価値向上につながります。アクセスの拡大が個人の幸福と経済の健全性の向上に大きく寄与することは、先ごろ実施された調査においても示されています。

経済性

フェデックスは、効率的かつ持続的なグローバルネットワークの構築をベースに、サービスを提供する220以上の国と地域においてお客様のニーズに応え、ビジネス機会を拡大するアクセスの改善を図っています。この取り組みが、当社のサービスに信頼を寄せてくださる株主の皆様やお客様に対する長期的な価値向上につながると信じています。

当社では以下の通り、核となる財務戦略をサポートする長期的な数値目標を打ち立てています。

- 売上高：年率10%の伸び
- 営業利益率：10%以上
- 1株当たり利益：年率10-15%の伸び
- キャッシュフローの改善と投下資本利益率などの収益率の増加

35年にわたる歴史を振り返ると、当社は長期的な展望にもとづく事業展開で成功を遂げてきたことが分かります。また過去には、業界に先駆けて中国でビジネスをスタートさせたような成長機会もあれば、燃料価格高騰や景気低迷などの困難を乗り越えてきたこともありました。当社の財務状況やその他の詳しい情報は、当社のウェブサイト (ir.fedex.com) に記載していますので、ご参照ください。

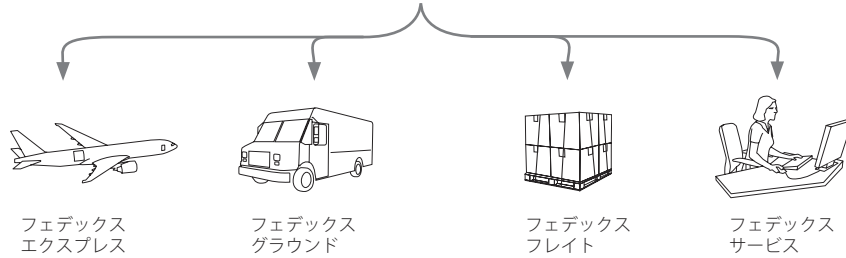
財務ハイライト

単位：百万、
(1株当たり収益を除く)

	2008年 ⁽¹⁾	2007年 ⁽²⁾	伸び率
業績			
売上高	\$37,953	\$35,214	8
営業利益	2,075	3,276	(37)
営業利益率	5.5%	9.3%	
純利益	1,125	2,016	(44)
希薄化後1株当たり利益	3.60	6.48	(44)
普通株式および 普通相当株式	312	311	0
資本支出	2,947	2,882	2
財務状況			
総資産	\$25,633		
総負債	2,008	2,646	
普通株主 投資	14,526	12,656	

- (1) 2008年の実績には、約8億9,100万ドルの費用を含む（6億9,600万ドル純税額、希薄化後1株当たり2.23ドル）。これは主に、キンコーズの商標使用を最小限にする決定とキンコーズ（フェデックスオフィスに名称変更）買収に伴うのれん代に関連した現金によらない減損分である。
- (2) 2007年の実績には、フェデックス エクスプレスのパイロットと新たに締結した4年契約に基づく前払報酬と手当の合計1億4,300万ドルの費用を含む。

FedEx



スモールビジネス教育

当社傘下のフェデックス エクスプレスでは、フェデックスPyMEx会員プログラムを通じて、起業家の方々に自社製品を輸出する際に必要なツールやトレーニングなどを含む教育セミナーを実施しています。このようなセミナーを実施するのは、フェデックス エクスプレスが最初かつ唯一の輸送会社です。同社は2004年から、国際貿易や貨物の追跡、ならびに電子商取引に関する400以上のワークショップを開催し、これまでに1万1,000社以上の中小企業の方々にご参加いただいています。

アクセス調査

エグゼクティブ・サマリーと同様、「How Greater Access Is Changing the World (アクセスの拡大が世界を変える)」と題する調査の全文は当社のサイト (access.fedex.com) でご覧いただけます。

アクセス

フェデックスが1973年に初めて貨物を配送して以来、世界各国を結ぶネットワークは急速に発展し、未曾有の経済的自由が押し進められてきました。フェデックスは「アクセス」の加速度的な拡大に重要な役割を果たし、世界中のほぼすべての人々や企業、地域社会の可能性を根底から変えてきました。アクセスの拡大が個人の幸福と経済の健全性の向上に大きく寄与することは、先ごろ実施された調査からも明らかです。これは、アクセスの拡大が国の変革をもたらし、産業とビジネスを繁栄させるといったマクロなレベル、そしてルワンダにいるバスケット編みの名人、アリスチュード・ムカシュヤカさんのような個人のレベル、どちらにおいても当てはまります。ムカシュヤカさんのような方が何百万人も集まることで、世界はますます良い方向に変化していくのです。

アクセスの理解

フェデックスのグローバルネットワークが個人や企業にどれほどのメリットをもたらすのか当社ではネットワークを拡充する過程において、その有効性を数え切れないほど見てきました。そこで気づいたのは、アクセスの拡大はフェデックスのビジネスの中核であるだけでなく、世界を前向きに変えるための大きな力である、ということです。そのため、継続的にアクセスに関する探究を重ね、アクセスが個人や企業、地域社会にもたらすチャンスやメリットについて理解を深めています。

フェデックスは2005年に非営利調査会社SRIインターナショナルに委託し、アクセス拡大に寄与する推進要因とアクセスがもたらすメリットを定義したほか、世界75カ国の公表済みデータを研究し、その相互関係を検証しました。その後、SRIインターナショナルは2008年に対象国を109カ国に拡大してリサーチを実施、アクセスと対象国の個人の幸福および企業の健全性との直接の相関関係の明確化を図りました。現在Access Index®として知られるこの調査では、対象国を、アイデアや人材、ならびに各種リソースへのアクセス拡大に伴うメリットの大きい順にランク付けしています。アクセスは、個人の生活の質 (QOL)、ビジネスや発展サイクル、ならびに経済の健全性と国の成長に対して、測定可能なプラスの効果があることが本調査によって明らかになっています。

フェデックスでは、本調査結果をベースに、世界レベルでアクセスに関する議論を進めていくことを目指しています。リサーチでは、現在どのようなインフラが利用可能で、今後のアクセス拡大にはどのようなインフラが必要なのかといった情報を政府や企業、投資家に提供しています。フェデックスでは、ワシントンD.C.やパリなどで、政治家に向けて詳細なプレゼンテーションを実施したり、年次刊行物「アクセスレビュー」を発行したりして、話し合いの推進を図っています。さらに、詳細情報をウェブサイト (access.fedex.com) に掲載して、議論を推し進めています。

環境と効率

フェデックスはグローバルネットワークの構築において重要な役割を担っています。しかし、民間の輸送業界は環境負荷を軽減するための根本的な解決法をいまだ生み出せていません。フェデックスは、自社のビジネスおよび輸送業界双方に役立つ新しい手法で日々のオペレーションとイノベーションに取り組んでいます。

本セクションでは、当社の環境への影響に関するデータを記しています。他のセクション同様、当レポートの今後の質の向上のためにステークホルダーの皆様からご意見をいただければと存じます。

温室効果ガスの排出量

燃料効率を改善し、代替ソリューションを考案

温室効果ガスの排出、ならびに化石燃料への依存度の少ない経済システム構築に対する期待は、過去数年にわたって最優先の環境問題として議論されています。当社では、温室効果ガスの排出、エネルギー安全保障問題、そしてビジネス成長の3点のバランスを取ることができず、またその全体最適化を図らなければなりません。短期的には、エネルギーの利用方法を改善することが、温室効果ガス排出量の削減に最も有効な手法です。

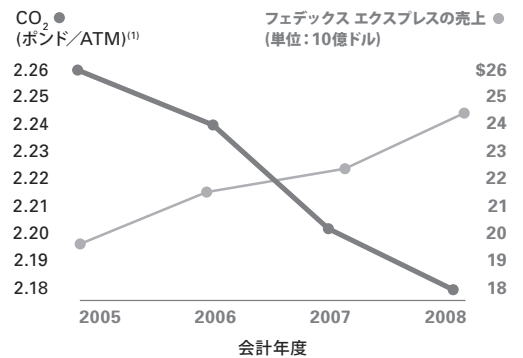
航空機の排出ガス削減目標：2020年までに20%

当社では、傘下のフェデックス エクスプレスのフライトオペレーションに伴う温室効果ガスの排出量を、2005年度を基準として、2020年までに有効トンマイルベースで20%削減することを目指しています。フェデックスのグローバルのフライトオペレーションにおける排出量は、同じく有効トンマイルベースで、2005年度は2.3ポンド、2008年度は2.2ポンドです。フェデックス エクスプレス部門では2005年以降、年率7.8%の売上成長を遂げる一方、相対的な排出量を3.7%削減しています。

航空機の効率改善

航空機の代替燃料への関心が高まる中、当社は採算ベースに乗り、商用可能で、かつ環境に優しい解決策を模索しています。直ちに実用可能な代替燃料はまだありませんが、その可能性を確信しています。当社では代替燃料を探し続けながら、現在所有する航空機を一段と効率的に運航することで、航空機が及ぼす影響を抑える別の方法を開発しました。

全航空機のCO₂効率 (2005年 - 2008年度)



- CO₂排出要因と関連する変換要因は、世界資源研究所(WRI)と持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)温室効果ガスプロトコルを用いて算出。

- 実際に購入した燃料を用いて、直接排出量を算出。

(1) 有効トンマイル (ATM) の定義は輸送量1トン(貨物)×輸送距離1マイル。

車両がもたらす影響の軽減

フェデックスの集配車両は削減、交換、根本的変換の3段階のアプローチを踏んでいます。必要車両数の削減のため集配ルート効率化を図っているほか、燃費効率を高め、温室効果ガスの排出量を減らすために車両の小型化に伴う走行距離の延長を試みています。そして、特に都市型環境が進んでいる地域での効率性を最大化するため、ハイブリッド電気自動車などの燃料効率に優れ、環境に優しいテクノロジーを模索しています。

フェデックスは、全世界の航空機と集配車両から、売上10万ドル当たり39.5トンのCO₂を排出しています。

ハイブリッド計画

フェデックス エクスプレスでは2004年に初めてハイブリッド車を導入して以来、現在の保有数は北米一となっています。それ以降、多岐にわたるハイブリッドモデルを世界中で導入しており、今後も保有車両を拡大していく予定です。当社のハイブリッド車の走行距離は200万マイルを超えています。

フェデックス エクスプレスでは、車種のバランスを見直してルート効率化することで、米国内での1ガロンあたりの走行距離⁽¹⁾を2005年に比べて13.7%改善しました。これは、4,500万ガロンの燃料を節約したことになり、CO₂排出量に換算すると45万2,573トン分に相当します。

(1) フェデックス エクスプレスの売上に貢献する集配車両の87%は米国内で運行。

2004



**フェデックス オプティ車両E700
試作型ハイブリッド**

2006



**E700ハイブリッド
電気トラック**



**いすゞNシリーズ
ハイブリッド・ボックストラック**

2008



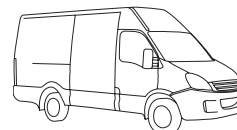
**E700ハイブリッド
電気トラック**



**いすゞNシリーズ
ハイブリッド・ボックストラック**



**フォードAzure W700
ハイブリッド電気トラック**



**イベコデイリー
ハイブリッド・バン**

施設のイノベーション

グリーン電力と太陽光発電システム

2005年8月、フェデックス エクスプレスのオークランドの西海岸ハブで、カリフォルニア州最大の屋上システムとなる太陽光発電システムが稼働開始しました。同システムは当初3年間で毎時300万キロワット(kWh)を超えるクリーンエネルギーを供給し、1,000トン以上のCO₂排出量削減に貢献しました。このシステムは施設に必要な全電力量のおよそ2割を供給する能力があり、また貨物のピーク時に必要な電力量の8割を賄うことができます。夜間稼働分を除くと、この割合はさらに高まります。

太陽光エネルギー発電

904 kW⁽¹⁾

フェデックス エクスプレス、カリフォルニア州オークランド (2005)

282 kW

フェデックス フレイト、カリフォルニア州ウィットティア (2008)

269 kW

フェデックス フレイト、カリフォルニア州フォンタナ (2008)

1.5 MW⁽²⁾

太陽光発電システム供給能力合計

今後の予定:

1.4 MW

フェデックス フレイト、ドイツ・ケルン (2010)

(1) kWはキロワット

(2) MWはメガワット

再生可能なエネルギー

大手12企業と世界資源研究所で結成された「グリーン電力市場開発グループ」は、2010年までにコスト競争力が強く環境に優しい新たな1,000メガワットの電力を供給するための企業マーケットの創出に力を注いでいます。フェデックス オフィスは設立メンバーとして、過去数年にわたり再生可能エネルギー証書(REC)に投資することで、米国の再生可能な電力市場に対し金銭的なコミットをしています。

リサイクル

企業と消費者双方が、製品のライフサイクルに注意を払うようになってきました。フェデックスではリサイクルや再利用プログラムを導入して、数多くの素材の使用期間を伸ばす工夫をしています。当社の幅広いリサイクル活動は、埋立地のゴミの量を数百万ポンド削減しています。

2008年度、フェデックスは合計1,760万ポンドの廃棄物をリサイクルしました。

フェデックス エクスプレスとフェデックス オフィスは、2008年度に200万ポンドを超えるエレクトロニクス関連の廃棄物をリサイクルしました。

梱包材と紙に対する取り組み

当社では10年以上にわたって、リサイクル素材を活用してリサイクル率の最大化を図るなど、梱包材による環境負荷を最小限に止める工夫をしてきました。今日、フェデックスの梱包材のほとんどに再生素材が含まれており、リサイクル可能です。また、フェデックス エクスプレスの主力であるオーバーナイト・エンベロープは、100%再生段ボールからできています。さらに、フェデックスの10kgと25kg用ボックスは、再生素材含有率が70%以上で、リサイクル可能です。各ロケーションで販売されているフェデックスのボックスには20%以上の再生素材が使われており、リサイクル可能です。大部分のフェデックス パックは再生素材含有率60%で、地域によってはリサイクル可能です。

ソーラーハブでの節約

カリフォルニア州オークランド・ハブにある太陽エネルギーシステムを耐用年数とされる30年使用すると、石油8万5,000バレル、石炭3,900万ポンド、あるいは天然ガス5億立方フィートに相当するエネルギーを生成します。これは、3,000エーカー分の植林、またはカリフォルニアの高速道路から約2,100台の車を撤去することに匹敵します。

カリフォルニアにある当社の太陽光発電施設がクリーンエネルギーを供給することで、毎年290万ポンドのCO₂排出量が削減されます。

地域社会と災害援助

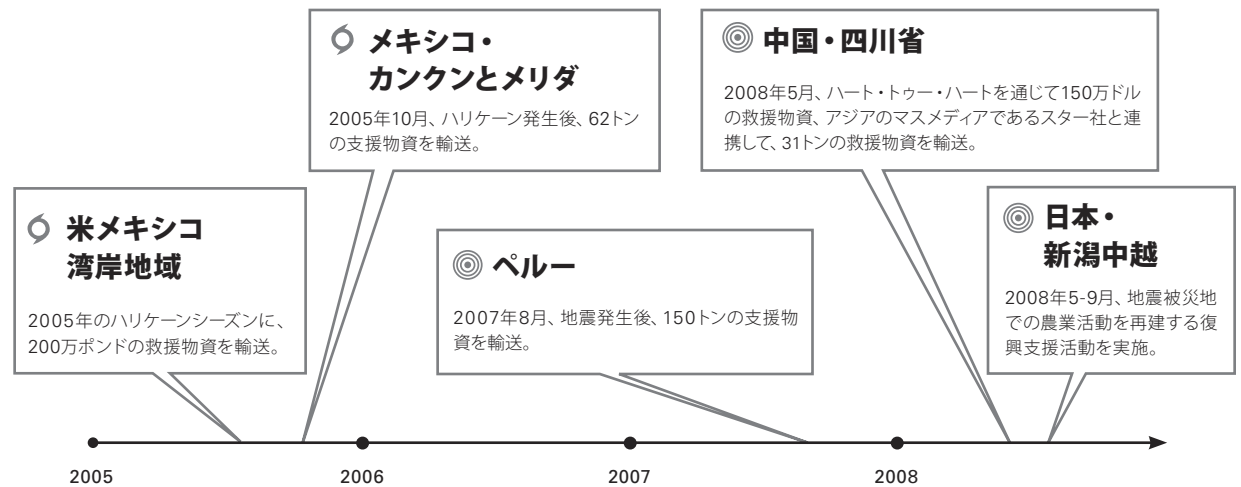
当社のグローバルネットワークは、世界各国に様々な機会を提供しています。同ネットワークの幅広いカバーエリアや迅速なスピード、ならびに高い信頼性を活用して、食料、水、シェルター、および医薬品などの緊急性の高い物資を被災地の方々にお届けしています。

フェデックスのスタッフは災害援助団体と協力して、中国の大地震の被災者に医薬品を届けたり、メキシコの洪水被災地で人道的支援活動を行ったりするなど、緊急時には率先して地域社会にサポートを提供してきました。迅速かつ効率的に対応する高いスキルと世界の隅々までカバーするネットワークを有するフェデックスにとって、災害援助は社会貢献活動の中核となっています。加えて、地域の住民の皆様の現在そして将来的な衛生および福祉環境の改善に向けても、当社のリソースとネットワークを活用しています。さらに、当社がビジネスを展開している主要市場では、スタッフに教育を施すのと同様、学生に質の高い教育機会を提供している団体に投資しています。

災害援助と備え

最近起こった災害の中には被害規模が極めて甚大なものもあり、そのような災害の救援に当たってはフェデックスのような秩序だった一枚岩の対応が必要とされます。当社は活動の大半を、米国赤十字社や救世軍、ハート・トゥー・ハート・インターナショナルなどの組織団体と協力して展開しています。これらの組織とは、輸送サービスや金銭的支援だけでなく、将来に向けた物資調達計画などにおいても協力関係にあります。

世界各国での最近の救援活動





健康と安全

当社のグローバルネットワークを活用して、医師や医薬品、治療へのアクセスを提供し医療機関の役割拡大を図っているほか、病気やけがの予防推進に貢献しています。また当社の交通安全における専門性を活用し、歩行者の安全を促進する組織団体に助言や支援を提供しています。

教育

教育は個人の潜在的な能力を引き出すカギであり、生活の質向上にも役立ちます。フェデックスはジュニア・アチーブメント・ワールドワイド (Junior Achievement Worldwide®)、およびティーチ・フォー・アメリカ (Teach For America) と協力し、学生がグローバルな舞台で活躍できるよう、質の高い教育の機会を提供しています。またマイノリティーの学生が高等教育に必要な奨学金を取得する機会の提供にも取り組んでいます。

ユナイテッド・ウェイ

フェデックスは1975年から毎年ユナイテッド・ウェイのキャンペーンを支援しており、2007年には会社と社員で総額1,600万ドルを寄付しました。加えて、フェデックスのスタッフをユナイテッド・ウェイの活動に3カ月間従事させ、スタッフの知識と専門性を提供するローン・エグゼクティブ・プログラム (Loaned Executive program) のような金銭的支援とは別の形のサポートも提供しています。また、ハリケーン・カトリナとリタの被災地で家屋の再建を支援するユナイテッド・ウェイのオルタナティブ・スプリング・ブレイク・プログラム (Alternative Spring Break program) も支援しています。フェデックスのこれまでの高い使命感を持った活動が高く評価され、2003年にユナイテッド・ウェイから米国内で最高峰の荣誉であるスピリット・オブ・アメリカ・アワード (Spirit of America Award®) を受賞しました。

フェデックスでは、自然災害による被災者の方々に緊急性の高い物資をお届けするため、当社の幅広いネットワーク、迅速なスピード、そして高い信頼性を積極的に活用しています。

フランス財団

フェデックスは、フランスの恵まれない女性や若者に就職支援を行うフランス財団のスポンサーです。対象となる方々に適職への就業準備に必要なトレーニングや移動手段などのサポートを提供しています。

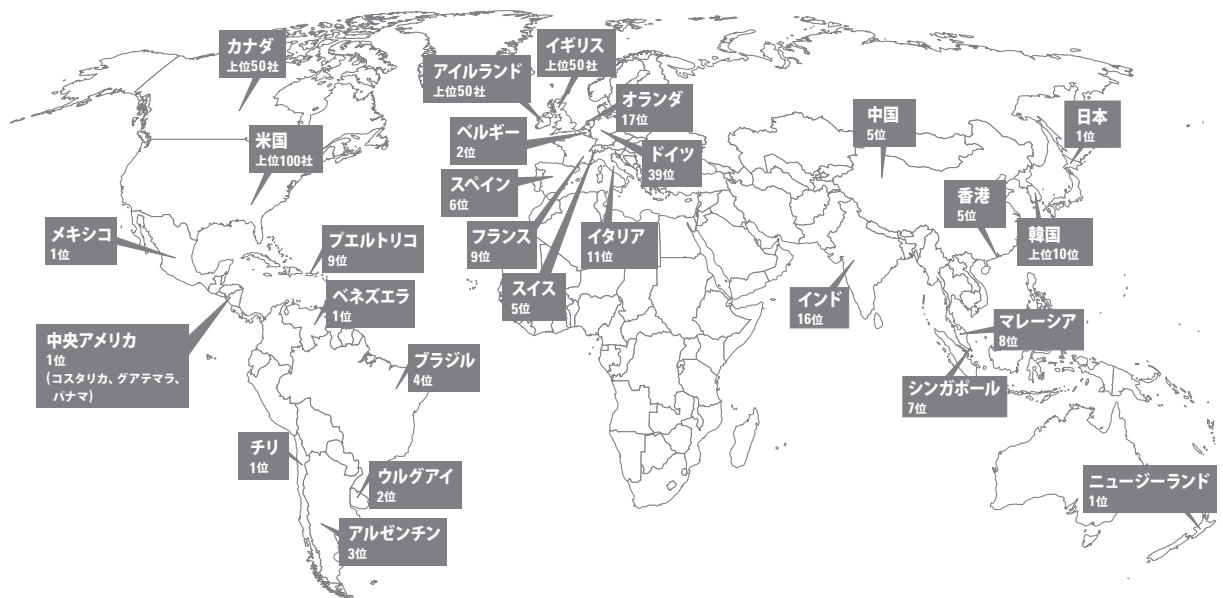
人材と職場

フェデックスでは、すべての人に最高のフェデックス体験を提供できるよう、全力を挙げて取り組んでいます。この理念は「パープル・プロミス」と呼ばれ、当社の29万人の社員の信条となっています。1-3営業日の間に世界のGDPの90%以上を生み出す地域にサービスを提供する企業として、この「パープル・プロミス」は極めて重要な概念です。

お客様に対する行動指針となるこの理念は、社内で積み重ねる必要のある経験の方向性を決定づけています。スタッフ同士のコミュニケーションから、会社に対するエンゲージメントのレベル、そして社員満足度の向上につながるメリットの創出まで、私たちが行うすべてのことはこのサービスモデルの継続的な発展にもとづいています。

社員との積極的な対話

社員との関係を大切に育むことで、「パープル・プロミス」を重視するカルチャーを創造することができます。対話のチャンネルをオープンにすることで、スタッフは何がうまくいっているのかを伝えることができ、私たちもスタッフのフィードバックにもとづいて行動することができます。究極的には、当社の成功はサービスを提供するスタッフの能力にかかっています。当社はそのことを十分に認識しており、責任を持ってスタッフ一人ひとりの能力開発支援に取り組んでいます。



最も働きがいのある企業 — 最近の世界ランキング (2005年 - 2008年)

当社のチームの頑張りや、これまでの35年以上にわたる継続的な発展とネットワークの拡充をもたらしてきました。これは、フェデックスの社員一人ひとりの努力の賜物です。2008年グローバル・シチズンシップ・レポートの58ページに当社スタッフの多様性についての詳しく記載していますので参照ください。

2007年フォーチュン誌の調査結果（米国）から。

- 経営陣は親しみやすいと感じている **82%**
- フェデックスで長期間働きたい **83%**
- やり遂げた仕事に誇りを感じる **91%**
- フェデックスで働いていることを誇りに思う **88%**

- 経営陣は社員への期待を明確にしていると感じる **72%**
- 特別なことをするときちゃんと認めてもらえる職場だと思う **67%**
- 総合的に判断して、フェデックスは働きがいのある職場だと思う **82%**

フィードバックと対話

当社では、お客様に接するスタッフのロイヤリティやエンゲージメント、貢献度を追跡調査するために多くの手法を確立してきました。それらの結果は、スタッフ一人ひとりの継続的な努力と今後の成長に向けて、社内で行き届く具体的なアクションの特定に役立っています。

当社では、フェデックスで働くことに対する心構え、希望、意見（フェデックスのリーダーシップについての意見も含め）を測定するために、そしてスタッフのエンゲージメントや士気を測る目的で、社員調査を実施しています。最近終了した調査への参加率は93%でした。この調査のプロセスには、担当業務のマネージャーとの「フィードバック」セッションがあり、スタッフは調査で記した事項を詳しく説明する機会が与えられます。このプロセスを通じてスタッフから得られたフィードバックが、将来的な改善策や取り組みに繋がっています。

能力開発と昇進

フェデックスでは長年にわたり、優秀な人材を社内でも育成してきました。オープンポジションはまず社内でも告知され、スタッフに昇進や異動の機会が提供されます。スタッフの在籍期間の長さや業界内での高い評判はいずれも、当社のカルチャーがビジネスの成功に大きく貢献していることを表しています。

当社では、社内の自己開発プログラムや学費支給制度などを通じて、スタッフが情熱を持って目標を追求できるように最優先で取り組んでいます。またフェデックスでは、スタッフが自分の勤務形態をフルタイム、パートタイム、あるいは契約社員のなかから選択できるようにしています。

人材への投資

当社では他と比べて遜色ない給料と手当の支給を約束し、またお互いに支え合う職場環境を構築するプログラムを常に提供しています。フェデックスにおける報酬は3つの原則にもとづいています。1つ目は社外の転職市場で競争力があり、会社の長期的な財務予測に見合っていること、2つ目は提示する報酬と手当は実力主義の文化にもとづいていること、そして最後は、経営陣が最小限の管理労力で、最大限の柔軟性を発揮できること。またフェデックスはこれまで、総合的な一括報酬を提示してきました。社員の手当は多様で、医療、退職、障害、遺族保障プラン、さらに仕事や生活、その他の随意手当プランなどがあり、様々なニーズに対応しています。

多様性の受容

フェデックスは、サービスを提供する国や地域の数と同様、多様性に溢れています。それにも関わらず、当社は多様な背景、スキル、経験を一つにし、さらに強力な企業を作り出す共通の理念を有しています。当社は、多様性とマイノリティーの定義が文化的意味合いによってどのように変わるかを理解し、人種、性別、文化、宗教、年齢、国籍、軍役の有無、障害、性的指向に関わらず、スタッフ全員の貢献と考え方を尊重します。管理職として多くの女性とマイノリティーが活躍していることから分かるように、当社は数十年にわたって多様性を大切にしてきました。今日の変化し続けるグローバル市場において、成功を継続するためには、職場における多様性は不可欠です。

安全性の高い職場の構築

安全は当社の根幹を成すカルチャーです。職場における包括的な安全教育は、当社の業務トレーニングプログラムには欠かせません。当社では安全性を熟知したプロフェッショナルが、全世界で規制上の要件を遵守しているかを監視し、けがや事故の防止策について、社員と緊密に取り組んでいます。

グローバルシチズンシップに向けた取り組み

フェデックスは、世界を持続可能な形で結び、株主の皆様と当社のサービスを信頼してくださる地域社会、そして企業のために、当社の長期的な価値を高めることを約束します。

フェデックスは、持続可能なビジネスは持続可能な社会と本質的に結ばれている、と理解しています。当社は世界各国を迅速に結び、個人、企業、そして国に新しい市場とテクノロジー、そしてアイデアへ繋がるアクセスを提供するビジネスに従事しています。その先にあるものは：

- 当社のロジスティクスにおける専門性を活用し、緊急および災害援助を提供します。必要な時に世界各国へ迅速かつ効率的に到達し、再建までの道のりを支援します。
- 当社の能力と広範な輸送ネットワークを活用し、必要最小限の衛生と人的なサービスを必要とする人々と地域社会を支援します。
- 当社では、安全性を基軸に据え、全社にわたって最優先事項とします。また車道を利用する人たちの安全に努め、子どもたちに歩行者安全教育を提供することで、安全性に対する能力を共有することをお約束します。チームメンバーに対しては、成長し成功するチャンスのある安全で充実した環境を提供します。
- フェデックスのパッケージやオペレーション、施設が及ぼす環境への影響を最小限に抑えるために、当社のイノベーションとテクノロジーを用い、継続して環境マネジメントの改善を進めることをお約束します。
- 天然資源を効果的に最大限活用する一方で、リサイクルやイノベーション、汚染防止に努めながら、廃棄物の発生を極力抑えることに傾注していきます。
- 社員に明確な方針、トレーニング、正当な評価を提供し、環境に対する責任や配慮を組み込みながら、日々の業務やビジネスを推進します。
- リーダーとチームメンバーの教育および啓発は、当社の将来を守るためにできることの中で最も重要なものの一つだと信じています。フェデックスはテクノロジー、経済、貿易、安全性、多様性などの分野において教育機会の提供を支援するほか、多様な意見とバックグラウンドを受け入れ、すべての社員に敬意を払い、公平に接します。
- 当社が長年堅持してきた高い水準のコーポレートガバナンス（企業統治）を、さらに推進することをお約束します。

フェデックスは当社の社員の情熱によって支えられています。フェデックスは、仲間となって成功を収め有意義なキャリアを築く有能な人材を世界に求める一方で、フェデックスのチームをこれからも鼓舞し、意欲を引き出し続けます。

フェデックス コーポレーション

942 South Shady Grove Road
Memphis, TN 38120, USA
citizenship@fedex.com

フェデックス・シチズンシップ・ブログ（英語のみ）：<http://blog.fedex.com>

2008年グローバル・シチズンシップ・レポート（英語のみ）：
http://citizenshipblog.fedex.designcdt.com/sites/default/files/fedex_citizenship_2008.pdf